

プーク人形劇場 2023 平和企画

紡ぐ

平和

想い

未来

2023年
11月25日(土)15時/19時
11月26日(日)11時

於／プーク人形劇場

戦争はいやだ。

「いつかの、どこかの国で、たくさんの人が、犠牲になった」

たくさんの人ひとりひとりに顔があり、名前があり、住まいがあり、人格があり、人生があった。

当たり前の生活のすぐ隣に、爆弾が落ちてきて

その人が主人公として紡がれていた物語は、唐突に終止符をうたれてしまった。

自分の人生を確かに生きていた、ひとりひとりのことを

「どこかの国の、たくさんの犠牲者」のうちのひとかけらに、埋もれさせてはいけない。

確かに生きるひとりひとりのことを想像できたら、だれも爆弾なんて落とせないはず。

戦争なんて馬鹿げたことを始めるのが人間なら、止められるのも人間だ。

戦争はいやだ。

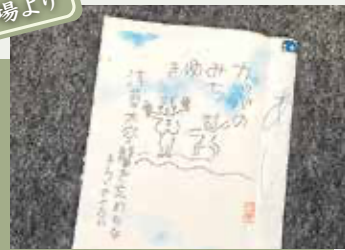
誰もが当たり前に思っていることを、わざわざ声に出してゆこう。

声と声とが糸を紡ぐように、つながり、大きな世界を包むほど広がるように。

想い、願い、紡ぐ。

 プーク人形劇場

稽古場より



何冊も作成された手書きの台本。味のある文字とイラストは岡本文弥によるもの。



撮影：太田浩二

『河童の道行』

カッパのみちゆき

【新内と人形の共演】

作 岡本文弥

演出 柏木俊彦

人形美術 城田雅子

(スタジオ・シーヴア)

出演

新内 岡本宮之助

鶴賀喜代寿郎

人形

大橋友子

栗原弘昌

(人形劇団アーク)

「赤い新内」と言われた反戦三部作ほか、多くの新作を世に生み出した岡本文弥。その芸と心を継承する岡本宮之助の新内と、人形との共演です。

2匹の河童のかけあいでは綴られる『河童の道行』は、東京大空襲の10年後に創られました。ユーモアもありながら、圧倒的な空襲の描写や、腹の底から湧き出するような敵国への怒りの感情なども生々しく描かれます。戦中から戦後にわたり、敵国への視線が180度変化した日本人の姿を皮肉り、強い反骨精神を内包しながら、哀しい逃避の道行きからは、したたかに「生きのびる」たくましさや未来への希望を感じさせます。

ブークでの新内と人形との共演は、1993年の川尻泰司・岡本文弥（当時99歳）による『ぶんやアリラン』以来となります。

■岡本宮之助

岡本流後継者として大祖父・岡本文弥、五世宮染に師事。岡本流以外では演奏不可能になった多くの浄瑠璃を正しく継承。演奏会、舞踊会、放送など出演多数。

■演出：柏木俊彦

演出家・俳優。木野花ドラマスタジオを経て、2010年に第0楽章を設立。ほか、プロデュース公演に演出、俳優、ドラマタークなど様々な形で参加。多岐にわたり活躍中。

展示：てつなぎキルト

イラクで小児癌と戦う子ども達が描いた絵を縫い取った大判のキルト。全国をめぐり、その土地土地の人が応援の気持ちを込めて描き加えた絵が、その周りをぐるりと囲んでいます。たくさんの手で思いを繋いだ「旅するキルト」。ぜひそっと触れて、子どもたちの命の証を感じて下さい。周りの白い余白にはぜひ「命あるもの」をテーマに、あなたの手で優しい絵を描き加えてくださいね。

協力：JIM-NET/1000peace



【原爆詩の朗読】

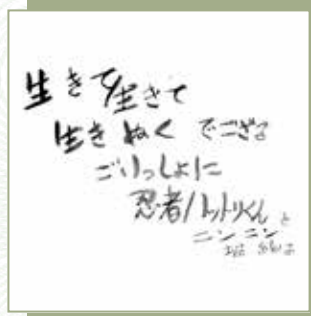
峠三吉 原爆詩集 『序』 ほか

構成・演出・出演 堀 絢子

忍者ハットリくんや、オバ Q、『ざわざわ森のがんこちゃん』のトカゲのピロくんなど…数々のキャラクターに命を吹き込んできた声優・堀絢子。広島で軍医だった父を原爆で亡くし、「舞台を通して原爆の非人間性を訴えたい」と、反戦の一人芝居『朝ちゃん』を創り長年演じてきました。その想いに共感し、プーク人形劇場でも2013年～2019年にかけて取り組みました。

今年は原爆詩の朗読で、反戦の思いをお届けします。

愚かな戦争は絶えることなく続いています。
平和を愛を優しさを命の尊さを！
死にたくないのに死なされた人の分まで生きて下さい！
— 堀 絢子 —



■堀 絢子

俳優。中国・奉天（現 瀋陽）生まれ。主な出演作に帝劇ミュージカル「スカーレット」文学座「にぎりえ」など。声の出演では、「忍者ハットリくん」「新オバケの Q 太郎」「チンプイ」など多数。

【舞踊・二胡・唄】

『きらいなうた』

作詞・作曲 中川えりか／編曲 アカラ

舞踊 小泉憲央 (studio ALMA)

演奏 アカラ こたにじゅん (二胡)

中川えりか (唄・二胡)

『はるのうた』

作詞・作曲 中川えりか／編曲 アカラ

演奏 アカラ



撮影：亀井奈緒

稽古場より

演劇的で、身体の隅々にまで想いがみなぎり張り詰めるような強さをもつ舞踊と、そこに重なる美しく切ない二胡の音色と歌声。

日本での戦争をしらない世代が、戦争の終わらない今の世界に想いをはせ、紡ぎ出した言葉を、唄と踊りとで表現します。戦争のむなしさと、生きてゆくことの美しさが強く心に残ります。

■小泉憲央 (studio ALMA)

桐朋学園芸術科演劇専攻卒。東京演劇アンサンブルを経て、西田堯舞踊団へ。2022年、劇団「studio ALMA」を結成。オリジナルの舞踊劇の作・演出・振付を務める。

■アカラ (こたにじゅん、中川えりか)

日本人では数少ないプロの二胡奏者のユニット。「ツイン二胡と唄」の独自のスタイルでジャンルを越えて支持され、国内外で活動。中国公演は来場者記録を更新。

ことばのリレー ～みんなの声で未来へつなぐ～

今日は、みなさんをお迎えする時間に、子どもたちの声を会場に流しています。これは、「大切なもの」「大好きなもの」「あったらいいなと思うもの」などをテーマに、インタビューして答えてもらった声です。あわせて「ずっと大切にしたいと思う情景」の音声もお寄せいただきました。なにげない日常にある、幸せの時間。そんな時間を、誰も奪われることのない世界になりますように。 …本日のご来場、ありがとうございました。

声を届けてくれたみなさん（敬称略） ※全部を紹介しきれなくてごめんなさい！

しずの いぶき しほ さおり わかば もよこ むぎ けいた さや香 みな だいき りくと かなで まい
ほか、プーク友の会「ハロウィンをつどい」に来てくれたお友達

たずねてみませんか？

原爆の囃 丸木美術館（埼玉県東松山市）
<https://marukigallery.jp/> TEL：0493-22-3266

アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)（新宿区西早稲田）
<https://wam-peace.org/> TEL：03-3202 4633

東京大空襲・戦災資料センター（江東区北砂）
<https://tokyo-sensai.net/> TEL：03-5857-5631

平和祈念展示資料館（新宿区西新宿）
<https://www.heiwakinen.go.jp/> TEL：03-5323-8709

昭和館（千代田区九段南）
<https://www.showakan.go.jp/> TEL：03-3222-2574

都内や近隣にも、戦争について
さまざまな角度から学べる施設
がたくさんあります。
ぜひたずねてみてください。

【2023 平和企画～紡ぐ～/スタッフ】音響/吉川安志 照明/阿部千賀子 舞台監督/小立哲也 制作/小原美紗

プーク人形劇場は

日本で初めての現代人形劇専門の劇場として・・・そして、こどもたちの夢と楽しさにあふれた小さな殿堂として、1971年11月26日に誕生しました。
今年、2023年の11月26日は52回目のお誕生日です。これからずっと、こどもたちと、おとなたちにとっても、夢と楽しさにあふれた劇場でありつづけたいと想います！今日のご来場の記念に、ぜひ足跡メッセージを残していってくださいね。



プーク人形劇場

☎151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3
☎03-3379-0234, FAX.3370-5120



<https://theatre.puk.jp/>



助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化））| 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援：NPO 法人日本ウニマ、日本人形劇人協会、NPO 法人 JIM-NET（日本イラク医療支援ネットワーク）、公益財団法人 原爆の囃丸木美術館、渋谷区、新宿区、新宿区教育委員会、南新宿商店会、アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)